

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	18106015	研究期間	平成18年度～平成21年度
研究課題名	船体桁の複合荷重下における縦最終強度評価法の確立に関する研究	研究代表者 (所属・職)	矢尾 哲也（大阪大学・大学院工学研究科・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>(1)逐次崩壊試験に関する計画変更、(2)バルカー・タンカー試験の見送り、(3)極限波浪加重計算法の開発が遅れが見られること、の3点に懸念があるが、想定外の事態による当初計画の変更は研究の遂行につきものであることを考慮して、以上が許容範囲内にあり、研究全般は、研究体制の柔軟な組み換えや対外発表状況を含めて着実に進展しているものと認める。</p> <p>今後奮励努力して、寧ろ上記の懸念を払拭して余りある成果を挙げられんことを期待する。</p>		

【平成22年度 検証結果】

<p>研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。</p> <p>平成20年度における研究進捗評価後、研究代表者らの多大な努力により、ほぼ当初の予定どおりの成果が達成されている。実験及びデータ解析に時間がかかったためであると考えられるが、これまでの当該研究に係る論文発表数は少ない。提唱された解析方法はいずれも重要な成果であるので、今後の論文発表によって研究成果のより社会的な周知がなされること、さらにこれらの解析方法が我が国の造船工業会で実際に使用されることを期待する。</p>
